

1. 調査目的

大阪府、市町村及び学校が、生徒の学力等の状況を把握し、教育の成果と課題を明確にするとともに指導の充実・改善を図る。生徒自身が自分の学習の到達状況を正しく理解することにより、目標を持ち、学力向上への意欲を高める。また、大阪府が調査結果を活用し、公立高等学校入学者選抜における評定の公平性担保に資する資料を作成し、市町村や学校に提供する。

2. 調査対象学年・調査内容

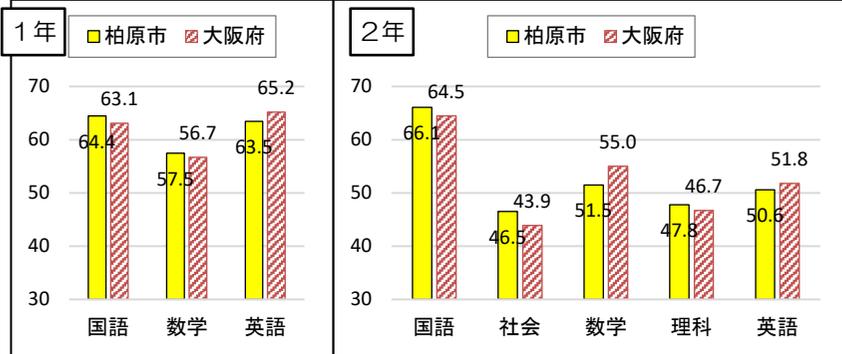
中学校 第1学年：国語・数学・英語・アンケート調査

第2学年：国語・社会・数学・理科・英語・アンケート調査

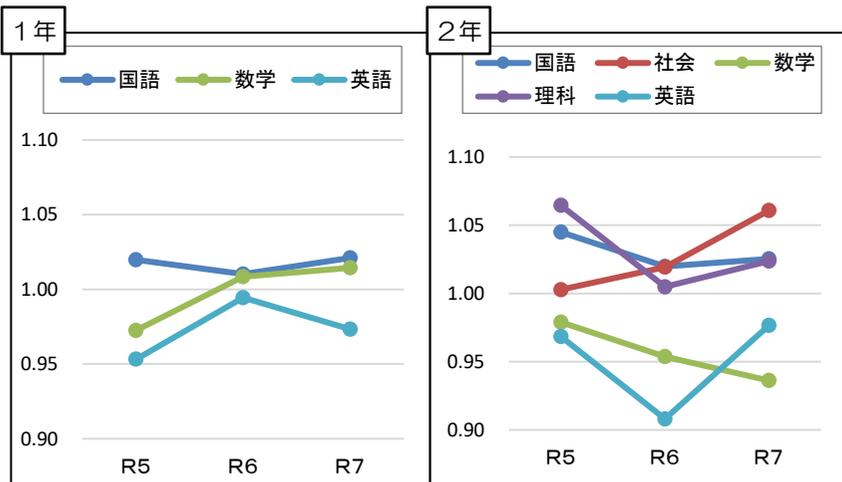
調査問題 : https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/r7_challenge_mondai.html

結果資料 : https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/challenge/r7_challenge_kekka.html

●各教科の平均点



●同一学年の経年変化（府比）



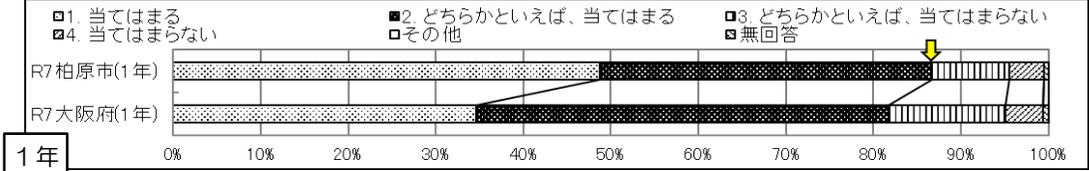
●アンケート結果より

《強みや課題》

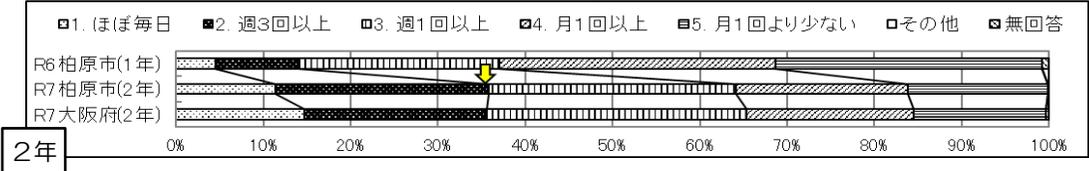
- 大事な部分や要点を意識して文章や資料等を読み取ろうとしている（8割以上）。
- 協働的にタブレット端末を活用する機会が増加している（府と同等にまで改善）。
- 多様な考え方、他者との協働に関して大多数の生徒が肯定的な回答をしている。
- 短時間であっても日常的に読書をする機会がある（7割以上）。
- ▼ 【1年】 わからないことや知りたいことを調べる機会が少ない（2年は改善）。
- ▼ 【2年】 日常的にスマートフォン等をゲーム・SNS等に使う時間が長い。

《特徴的な質問項目》

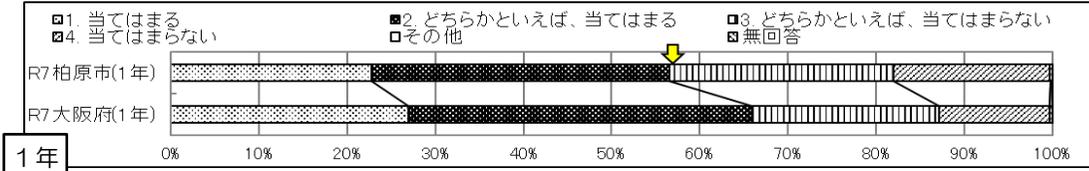
○ 学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある



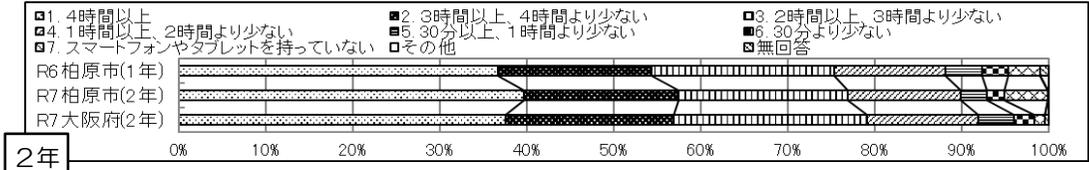
○ PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面がどれくらいあるか



▼ わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている



▼ 平日、学習以外にどれくらいスマートフォンやタブレットを使っているか



詳細な結果を記載した参考資料は市HPに掲載しています。

https://www.city.kashiwara.lg.jp/docs/2021110900019/file_contents/file_20263286103138_1.pdf

